

刊行の辞

本資料集は主として昭和一四〜二〇年の北海道、常磐炭田など東日本における朝鮮人を中心とした強制連行の実態資料である。資料の特色は石炭産業の内務文書による編集にある。とくに朝鮮人労働力の募集から労務管理の実態、戦後の朝鮮への送還までを一つの炭礦を対象に、時系的に資料でたどることができることである。

I は樺太、北海道、福島の行政文書、北海道炭礦汽船(株)関係資料、日曹鑛業(株)天塩鑛業所の資料を収録した。北海道の行政文書は敗戦前後の朝鮮人労働者の動向を明らかにする。福島の行政文書は常磐炭田を中心に、敗戦前後の朝鮮人・中国人労働者の動向を明らかにする。北炭関係資料は編者の作成した朝鮮人鑛夫の採用、在籍数、関係年表を収録した。天塩鑛業所関係資料は昭和一五〜二〇年の朝鮮人鑛夫の募集、逃亡、送還等労務管理資料を収録した。

II は昭和一四・一五年の住友鑛業(株)歌志内鑛業部の資料である。朝鮮人労働力をいかに確保し、鑛員としていかに訓練していくかを明らかにする。「半島鑛員就業日報」は約一年近くの朝鮮人鑛員の勤務状況、食住環境、健康状態など日常生活の実態を克明に記録している。

III は歌志内鑛業部資料のつづきと福島の常磐炭礦(株)関係資料を収録した。歌志内鑛業部資料は昭和一五〜二〇年の記録である。「昭和一五年度半島鑛員募集関係往復文書」は、労務係員の朝鮮派遣と労働力確保、移送までの約一カ月にわたるやりとりを記録したものである。常磐炭礦(株)関係資料は前身の磐城炭礦(株)と入山採炭(株)を中心に昭和一七〜一九年の記録と合併後の常磐炭礦(株)の昭和一九・二〇年の記録である。いづれも各炭礦の労働管理の実態を示すものである。常磐炭礦資料では朝鮮人鑛員への戦時特別弔慰金、死亡報正、進駐軍資料を収録した。

IV は昭和一四〜二〇年の石炭鑛業連合会文書、石炭統制会労務部・勤労部文書、石炭統制会東部支部文書を中心に収録。既刊の石炭統制会極秘文書を補足するもので、東部支部文書は常磐炭田を中心とする諸統計を収録。いづれも殆んどが極秘扱いである。統計以外にも労務専門委員会議事録、英文常磐関係資料を含む。巻末に編者作成の「戦時下常磐炭田の朝鮮人鉦夫殉職者名簿(1939年10月〜46年1月)を収録した。



入山採炭(株)入所式(昭和18年頃)

炭 鉱 名	在 場		勞 働 者		内 地 一 般	移 入 開 採 人	短 期	開 採 天	開 採 天	總 計	出 炭 高
	内 地 一 般	移 入 開 採 人	合 計	内 地 一 般							
夕 空 炭 礦	2527	4,793	7,320	4,938	5,428	437	128	333	1,264	174,400	
知 向 内 字 和 川 田 地 區	953	1,829	2,782	1,886	2,053	15	573	169	4,696	60,100	
内 字 和 川 田 地 區	191	696	887	494	885		85	32	1,496	23,100	
平 登 炭 礦	806	1,795	2,601	1,793	1,991	37	96	111	4,028	57,400	
平 登 炭 礦	497	733	1,230	982	783		99	43	1,907	32,500	
南 嶺 炭 礦	152	534	686	436	715	33	49	52	1,285	12,000	
南 嶺 炭 礦	248	229	477	425	284		100	39	848	10,100	
南 嶺 炭 礦	76	116	192	153	122		2	7	284	4,500	
南 嶺 炭 礦	311	567	878	566	652		21	84	1,323	19,709	
天 新 三 大 炭 礦	142	150	292								
天 新 三 大 炭 礦	507	1,047	1,554								
天 新 三 大 炭 礦	2,459	2,216	4,675								
天 新 三 大 炭 礦	1,009	1,203	2,212								
天 新 三 大 炭 礦	703	952	1,655								
天 新 三 大 炭 礦	313	556	869								
天 新 三 大 炭 礦	366	650	1,016								
天 新 三 大 炭 礦	129	254	383								
天 新 三 大 炭 礦	388	883	1,271								
天 新 三 大 炭 礦	220	344	564								
天 新 三 大 炭 礦	304	1,321	1,625								
天 新 三 大 炭 礦	1,226	1,521	2,747								
天 新 三 大 炭 礦	85	240	325								
天 新 三 大 炭 礦	1,840	1,979	3,819								
天 新 三 大 炭 礦	595	1,168	1,763								
天 新 三 大 炭 礦	221	452	673								
天 新 三 大 炭 礦	495	564	1,059								
天 新 三 大 炭 礦	610	502	1,112								
天 新 三 大 炭 礦	220	569	789								
天 新 三 大 炭 礦	264	26	290								
天 新 三 大 炭 礦	268	419	687								
天 新 三 大 炭 礦	155	120	275								
天 新 三 大 炭 礦	235	345	580								
天 新 三 大 炭 礦	200	132	332								
計	18,715	28,905	47,620								

手 島 人 管 務 處 供 出 狀 況 調 査

自 昭和十九年一月 至 昭和十九年三月

石 炭 經 理 會 管 務 部 北 海 道 管 務 部



道 別	割 当 数	供 出 数	供 出 率 %	鮮 内 事		航 空	派 航 人 員	派 航 率 %
				空 港 数	離 散 病 害 運 送			
道 別	2,710	2,298	78	3	154	2	2,159	73
道 別	3,710	2,665	72	5	20	1	3,511	66
道 別	2,610	2,220	85	1	115	0	2,077	66
道 別	2,110	1,731	82	1	115	0	1,611	80
道 別	2,420	2,031	84	5	110	1	2,311	90
道 別	2,920	1,913	65	2	286	4	1,611	55
道 別	2,100	1,478	70	0	95	1	1,379	65
道 別	2,030	628	31	1	32	1	594	29
道 別	1,400	1,183	84	1	100	1	1,083	77
道 別	1,230	1,140	92	2	87	1	1,050	85
道 別	1,310	1,310	100	0	0	0	1,310	100
計	14,970	13,124	77	22	1,280	14	11,852	69

前記 () 内ノ数字ハ煤 質 再 供 出 手 配 電 力 割 当 数 及 供 出 数 ヲ 示 ス

収録資料一覧

I

樺太庁行政文書

最近に於ける樺太各炭礦別労働者使用状況（昭和15年6月）

在留朝鮮人諸調査表（昭和18年）

北海道庁行政文書

移入朝鮮人労働者ノ帰郷計画輸送ノ件（昭和20年）

半島並ニ華人ノ指導取締ノ件（昭和20年）

鮮華人ノ犯罪概要（昭和21年2月）

北海道立労働科学研究所・研究調査報告

北海道炭鉱夫月別推移表（昭和18・19年）

北海道各炭礦別職種別労働者員数調（昭和20年6月）

北海道炭礦昭和一七年度逃亡者数

福島県庁行政文書

鮮人ノ保護善導等ニ関スル件（昭和4年9月）

朝鮮人取締ニ関スル件（昭和4年10月）

朝鮮人ニ対スル運動取締ニ関スル件（昭和5年2月）

在任朝鮮人職業別犯罪調（昭和4年1月〜6月）

中国人朝鮮人ノ稼働状況調査方ノ件（昭和20年10月）

常磐炭田ニ於ケル炭礦稼働朝鮮人ノ不穩行動ニ関スル件（昭和20年11月）

県内各工場事業場ニ於ケル朝鮮人ノ動向ニ関スル件（昭和20年11月）

常磐炭礦就労中ノ朝鮮人労働者ノ帰国及一般動向ニ関スル件（昭和20年11月）

北海道炭礦汽船（株）関係資料

朝鮮人礦夫採用人数（昭和14年10月〜20年12月）

道部別朝鮮人礦夫採用人数（昭和14年10月〜20年5月）

・朝鮮人労働者募集要綱

・秘 三月九日石炭礦業会打合せ事項

・移住朝鮮人労働者ニ関スル調査概要

・昭和一五年度第一次移入半島礦員ノ一般状況ニ関スル件

・内地移住朝鮮人労働者現況調査ニ関スル件

・第二次雇備半島人訓練指導案

・半島人坑内訓練指導要綱

・半島人取扱方懸案事項

・昭和一五年度半島礦員関係資料（許可申請外）

・半島人労働者ノ指導訓育調査細目

・朝鮮人労働者渡航後ノ状況調ニ関スル件

・移住朝鮮人労働者渡航後ノ状況調

・半島礦員就業日報（昭和15年3月〜12月）

四炭礦労働者移動率調

・昭和一七年度四炭礦労働者移動率調（磐城・古河・入山・大日本）

・極秘 労働者移動率調（昭和17年4月〜8月）

・極秘 礦夫月未現在数内訳表（昭和16年9月〜20年2月）

・極秘 主要炭礦月別労働状況調

・極秘 労働充足予定表・計画表（昭和18年〜19年）

・極秘 東部支那管内半島人集団移入調

・極秘 月末現在勤労働者数調（昭和19年10月〜20年12月）

・極秘 主要炭礦労働者就業率調（昭和20年4月〜7月）

・極秘 常磐地方炭礦労働者食糧不足事情（昭和17年5月）

・極秘 災害原簿（昭和17年7月〜19年9月）

・極秘 常磐炭心急増産労働対策ニ関スル件（昭和17年8月）

・極秘 昭和一八年度労働者取得計画書綴

朝鮮民族性ニツイテ

労働専門委員会関係（昭和19年）

樺太関係（昭和18年・19年）

帰郷労働関係（昭和19年・20年）

雑綴（昭和20年）

英文常磐関係資料

戦時下常磐炭田の朝鮮人鉱夫殉職者名簿

III

住友鉱業（株）歌志内礦業部資料2

昭和一五年度半島礦員募集関係資料（往復文書）

昭和一七年度半島関係稟議及検認

昭和二〇年度雑書類

・礦山殉職者調査ニ関スル件

・戦争終結ニ伴フ礦山勤労働者ノ調査ニ関スル件

常磐炭礦（株）関係資料

磐城炭礦（株）昭和一七・一八年度資料

・昭和一七年七月分労働月報

・昭和一八年三月分労働月報

・昭和一八年一〇月分労働月報

入山採炭（株）稟議綴（昭和17年）

道君別朝鮮人鑑夫採用人数(昭和15年1月〜20年1月)
月)
北炭・朝鮮人鑑夫関係年表(大正7年〜昭和22年)

日曹鉱業(株) 天塩鉱業所関係資料
移住朝鮮人状況統計(昭和15年10月)
移入半島人状況報告ニ関スル件(昭和15年10月)
募集半島人逃走ノ件(昭和16年3月)
服役朝鮮人労働者の刊期満了・釈放の件(昭和16年3月)

募集朝鮮人労働者定着指導計画案
鑑夫殉職者扶助に關する件(昭和16年9月)
半島人労働者募集ニ関スル通牒及参考書(昭和17年8月)
移入半島労働者取扱要綱(昭和19年8月)
空襲下ニ於ケル半島送出動労働者ノ指導援護ニ関スル件(昭和20年3月)

朝鮮人労働者関係綴(昭和17年7月〜20年10月)
昭和二〇年雑書類
半島勤労者給与状況報告月報(昭和20年10月)
乗船名簿(帰鮮者名簿)
華鮮労働者帰国持参金処理ニ関スル件(昭和20年10月)

入山採炭(株) 稟議綴(昭和18年)
入山採炭(株) 社内規則内規集綴
入山採炭(株) 稟議綴(昭和19年1月〜20年5月)
磐城炭礦(株) 稟議綴(昭和19年1月〜20年5月)
常磐炭礦(株) 勤労者関係綴(昭和19年)
・各礦在籍就業日報
常磐炭礦(株) 労務関係者優遇関係綴(昭和19〜20年)

常磐炭礦(株) 稟議綴(昭和20年4月〜21年4月)
常磐炭礦(株) 進駐軍関係綴(昭和20年12月〜22年3月)

石炭鉱業連合会文書
常磐石炭鉱業会関係資料(昭和14年5月〜15年4月)
・常磐石炭鉱業会報告
・女子坑内雇傭並ニ半島人集団移入ニ関スル件
第二七一回理事會決議録付属書類(昭和15年10月)

石炭統制会労務部・勤労部文書
極秘 主要炭礦地域別労務現況表(昭和18年4月〜19年1月)
極秘 炭礦労務統計図(昭和18年9月〜19年3月)
極秘 府県別労働者充足状況調／府県別労働者供出状況調(昭和19年7月〜20年1月)

石炭統制会東部文書
この「石炭産業内部文書 戦時下強制連行極秘資料集 東日本篇(全四巻)」は、先に復刻した「戦時下朝鮮人中国人連合軍俘虜強制連行資料集(全四巻)」(緑蔭書房 一九九二)の続巻にあたるものである。

国家総動員体制期の日本では、「労働動員計画」(昭和十四年度〜十六年度)「国民動員計画」(昭和十七年度〜二十年度等)に基づいて、朝鮮半島や中国大陸や南方地域から多数の朝鮮人、中国人、連合軍俘虜が、日本国内の基幹産業に集团的に労働動員された。先の資料集では、このうち石炭産業を対象にしている。そして大手石炭資本を糾合した産業団体でいわば半官半民の組織といえた石炭統制会の一次資料を中心に、さまざまな側面から彼らに関する文書を全国的範囲で収録したのである。

これに対して本資料集では、同様に石炭産業におけるこうした朝鮮人、中国人、連合軍俘虜を対象としながらも、当時、炭鉱が存在していた各地域の行政文書や個別石炭資本の一次資料を中心に収録している。また、石炭統制会東部支部の文書等も併せて収録した。このように先の資料集が全国的総論的内容であるのに対し、本資料集は地域的各論的内容になっているので、併せて利用されたい。なお、都合により今回は南樺太、北海道、本州東部までの範囲とし、東日本篇とした。

住友鉱業(株) 歌志内礦業部資料1
昭和一五年度半島職員文書綴
・労務管理上半島人移入員数限度ニ関スル考察

石炭産業の内部文書及び行政文書・石炭統制会の極秘文書等約六〇〇点を体系的に編纂し、初公刊する！

石炭統制会東部文書

石炭産業の内部文書及び行政文書・石炭統制会の極秘文書等約六〇〇点を体系的に編纂し、初公刊する！

石炭統制会東部文書

『戦時下朝鮮人中国人連合軍俘虜強制連行資料集』の続編

石炭産業内部文書

戦時下強制連行極秘資料集

長澤秀編・解説

〔東日本篇／全四巻〕

朝鮮人労働力の確保から日本への移送、炭礦での日々の教育訓練、勤務状況、食住環境から健康、被災、逃亡の状況等労務管理・統制の実態と敗戦後の朝鮮人の動向、帰郷状況を当事者の綴る克明な記録、内部文書によって初めて明らかにする。

〔各巻の構成〕

- I 樺太庁行政文書／北海道庁行政文書／北海道立労働科学研究所・研究調査報告／福島県庁行政文書／北海道炭礦汽船関係資料／日曹鉱業株式会社関係資料
- ▼収録史料 一〇四件 約四一〇頁
- II 住友礦業株歌志内礦業部資料1
- ▼収録史料 三八件 約三八〇頁
- III 住友礦業株歌志内礦業部資料2／常盤炭礦株関係資料
- ▼収録史料 一一三件 約三八六頁
- IV 石炭鉱業連合会文書／石炭統制会労務部・勤労部文書／石炭統制会東部文書／戦時下常盤炭田の朝鮮人鉱夫殉職者名簿
- ▼収録史料 一五一件 約三八二頁

〔体裁〕

B5判上製／クロス装函入／一、五三八頁
揃定価八二、四〇〇円

※続刊として、本資料集の「西日本篇」を予定しております。

増刷出来（6月刊）

石炭統制会極秘文書

戦時下強制連行資料集

長澤秀編・解説

〔全四巻〕

戦時下（昭和17～20年）、朝鮮人・中国人・連合軍俘虜の強制連行による全国の主要炭鉱（樺太を含む）の詳細な労務統計と労務管理の実態を示す極秘内部資料を体系的に収録、編纂したものである。本資料は今日までそのほとんどが研究者未見の資料群で、日本政府の朝鮮人強制連行政策や、外国人俘虜に関する非人道的政策の解明に光を当てる第一級の第一次資料である。

〔各巻の構成〕

- I 朝鮮人強制連行関係〔統計編〕
- ▼収録史料 一〇件 三四四頁
- II 朝鮮人強制連行関係〔文書編〕
- ▼収録史料 四三件 三八四頁
- III 中国人強制連行関係
- ▼収録史料 四一件 三六八頁
- IV 連合軍俘虜関係
- ▼収録史料 百数件 四八〇頁

〔体裁〕

B5判上製／クロス装函入／一、五七六頁
揃定価八二、四〇〇円



緑蔭書房

〒173 東京都板橋区板橋1-13-1 ☎03(3579)5444 表示価格は消費税込みです

特約店